

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	不定期
授業科目	基礎看護技術VI						
単位数	2 単位	時間	4 6 時間	開講時期	2年次通年	授業形態	講義・演習
担当教員	水谷 仁司						
授業目的	診療の補助である看護援助を理解し、必要な援助方法と対象の心理を理解する。						
中核	診療の補助技術						
授業目標	1. 診療を支える看護技術について理解し、看護の意義が理解できる。 2. 侵襲性の高い診療に伴う看護技術を安全・安楽に実施できる。 3. 診療、検査、治療や処置を受ける対象を理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	診察・検査における看護技術・生体検査	講義	2			
	2	無菌操作・創傷処置	講義	2			
	3	無菌操作・創傷処置	演習 (必修)	4			
	4						
	5	無菌操作・創傷処置 (リフレクション)	演習	2			
	6	検体検査 (尿・便・喀痰)	講義	2			
	7	検体検査 (採血)	講義	2			
	8	採血 (真空採血)	演習 (必修)	4			
	9						
	10	採血 (リフレクション)	演習	2			
	11	穿刺 (腰椎・骨髄)	講義	2			
	12	処置における看護技術	講義	2			
	13	与薬 (基礎知識・与薬経路)	講義	2			
	14	与薬 (注射法)	講義	2			
	15	点滴静脈内注射	講義	2			
	16	点滴静脈内注射 (演習)	演習 (必修)	4			
	17						
	18	点滴静脈内注射 (リフレクション)	演習	2			
	19	筋肉内注射	講義	2			
	20	筋肉内注射 (演習)	演習 (必修)	4			
	21						
	22	筋肉内注射 (リフレクション)	演習	2			
	23	輸血管理	講義	2			
評価計画方法	筆記試験・実習態度・リフレクションノート						
テキスト 参考図書	茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学③ 基礎看護技術II (第18版[電子版]) 医学書院 徳永なじみ著：新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術II (メヂカルフレンド社) 看護がみえるvol.2 臨床看護技術 第1版 (メディックメディア)、看護技術プラクティス 第4版 (Gakken)						
事前学習 事後学習							
実務歴 有	看護師：病院勤務 19年						
講義への 反映	臨床場面から実際の看護技術の目的・意義を実感できる講義を展開する						
備考							